

## 船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第343号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月21日 07時10分ごろ	
発生場所	徳島県 徳島空港工事現場	
事故等調査の経過	平成21年11月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 砂利採取運搬船 第二十六中野丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 130826、家島建設株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	ビルジキール損傷及び推進器翼に曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、徳島空港工事現場において、船首約3.8m、船尾約5.0mの喫水で、着岸作業中、平成21年9月21日07時10分ごろ、船底に衝撃を受けた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約1.9m/s</p> <p>海象：潮汐 高潮期</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、徳島空港工事現場において着岸作業中、水深の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が徳島空港工事現場において着岸作業中、水深の確認を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	